日生シップマネージメント株式会社

HSM通信

2025.12.19

69号

HSMニュース

マンニング会社のパーティーに参加してみた！

この度、12月2日に当社がお世話になっているマンニング会社殿の30周年記念パーティー(兼 クリスマスパーティー)が開催され、参加させて頂きました！

パーティーは、マニラにある超有名で超豪華な「オカダマニラ」で催されました。
「オカダマニラ」は、世界最大級のカジノ・ホテル・統合型リゾート(IR)施設であり、日本のパチンコメーカーのグループ会社によって運営されている世界で初めて日本人が単独オーナーとなって開業したカジノホテルとして知られています。

施設も凄すぎて驚きましたが、パーティー自体もとても豪華で盛大でビックリしました。
スタッフの皆さんの歌やダンス、そしてショーステージなどもあり、フィリピンらしく賑やかでとても楽しいパーティーでした！

二度と行けないかもしれないので、オカダマニラの中を迷子になりながら散策して堪能しました。
ご招待頂きありがとうございました！
マラーミン マラーミン サラマッポ

日本海事新聞に記事が掲載されました！

当社グループ会社である㈱HSMが開発を進めているクラウド型船舶管理システム「RitCH(リッチ)」に関する記事が2025年12月8日の日本海事新聞に掲載されました。

HSM、船舶管理システム好評。契約13社・対象船100隻

人材の確保や育成、複雑化している業務の効率化、規則や要求事項の厳格化等、船主・管理会社が抱えている多くの課題に対する解決策の一つとして同システムを開発し、ウェブシステムとしてサービスを提供しております。サブスクリプション方式のため高額な導入費用もかかりません。

誰でも直感的に操作できる使いやすさや柔軟で低価格な料金プランが評価され、導入企業様も増えています。
今後も現場での声をもとに、順次機能の更新及び新機能の追加が行われていきます！

詳細は、㈱HSMのウェブサイトにてご確認頂けます。
Reach the itch「かゆい所に手が届く」実用的なシステム「RitCH」をぜひご検討下さい！

このコーナーでは散歩の似合わない男「桑村」がその重い腰ならぬ重い体を上げ、日生やその周辺を散歩！魅力的なスポット・お店などを紹介していくのですが・・・

赤穂・日生は今回もお休みさせて頂きます。期待されている方申し訳ございません。
というわけで今回も特別編、出張先の「広島県呉市」からお届けします！

くわ散歩 第20回：呉で軽く一杯のはずが・・・結局満腹。広島県呉市「居酒屋しんや」

皆さんこんにちは！くわ散歩では、弊社周辺や近隣、また出張先などのオススメのお店や、まだ知られていない穴場など、様々なスポットを紹介いたします。

日生・赤穂での取材(?)が出来ておらず、気付けば定番＋すき家ばかり・・・そのため今回も、またまたまたまた番外編でお送りします。広島県呉市に伺った際、フラフラと歩きながらふとお邪魔したお店を紹介します。

呉に到着後、「今日は軽く一杯くらいにしようか」と上司と話ながら歩いていると、ふと目に入ったのが「居酒屋しんや」さん。
（住所：広島県呉市中通4丁目2−8）

JR呉駅からだと徒歩15分程度、呉の繁華街・飲み屋街の一角にありいかにも地元に馴染んだ雰囲気のお店です。

この日はカウンター席でしたが、個室も充実していて便利そうでした。

まずはビールと、きすの天ぷら。きすの天ぷらって、そこまで特別珍しいものではないものの、意外と食べられるお店がないような気がします。

店員さんもオススメしていましたが、食べてみるとサクッと軽い衣に、ふわっとした白身。もちろん言うこと無しに美味しかったです。

これでスタートすると、テンションが上がっちゃいますね。

白せんまいの刺身。
どうして見つけると頼まずにいられないのでしょうか。。。

メニューを見て気になった「カワハギの活造り　きも和え」も注文。
運ばれてきた瞬間まず目を引くのが、居酒屋でサッと頼んだと思えない盛り付け。氷の上にきれいに並べられた身と、別皿のきもは圧巻でした。

もちろんお刺身自体も、身はしっかりとした歯ごたえがありつつ、嫌なクセは一切なし。肝も醤油に溶かして一緒に頂き、言う事無しです。

変化球でチヂミも注文。
カリカリモチモチであっという間に食べちゃいました。

続いて、店員さんにオススメしてもらったのが、ほたてのバター焼き。

バターの香りが立っていて、焼き色もきれい。一口食べると、貝柱の甘みがしっかりしていて、バターがうまく引き立てている感じです。

シンプルな料理ですが、だからこそ誤魔化しがきかない一品。
これはオススメされるのも納得でした。

地だこの辛子酢味噌和え。これもまた、運ばれてきた瞬間に目を引く盛り付けです。居酒屋の一品というより、少しワンランク上の出し方ですよね。

もちろん味も申し分なく、地だこの歯ごたえと、辛子酢味噌のバランスがちょうどよく、ハイボールもどんどん進みました。

変わり種で「なすぎょうざ」。
ナス好きの私にはたまらない逸品でした。

今回、広島空港で倉崎海産さんの「花瑠＆花星（おいる＆おいすたー）」を買いました。色々な地域で牡蠣のオイル漬けを買いますが、個人的にはここがダントツ一番です。

普段はどうしても「肉系」に寄ってしまうくわ散歩ですが、今回は思いがけず、美味しいお魚をしっかり楽しむことができました。

ふらっと入った居酒屋でしたが、一品一品に手間暇が感じられ、お値段以上に満足感のある内容でした。

ごちそうさまでした！

それでは、次回の「くわ散歩」でまたお会いしましょう！

ピックアップ！

ここでは、私共が目にして気になった記事やニュース等を紹介させて頂きます。
海運に関する事や海運に関係なくても興味がわく様な内容の物を色々紹介していきたいと思います！

こんちには！ 今回もいつも通り、締め切り間際になり焦ったので、取り敢えず一回落ち着く為にも忘年会がてら外出して酒を飲んでみました。現在、帰宅後パソコンに向かっています。とても辛いです。。。眠いです。。。
さて今回は、ある言葉をピックアップしてみたいと思います。
近年良く耳にする言葉で最近は高市首相の発言で話題になった「ワーク・ライフ・バランス」について触れてみたいと思います。

「 ワーク・ライフ・バランス 」

皆さんはこの「ワークライフバランス」という言葉の意味をどの様に捉えていらっしゃいますか？
私は何だか漠然とイメージしていた感じですが、この機会に改めて本来の意味や今後どの様に意識していくかなど考察してみたいと思います。

言葉の意味を調べてみると、
「 ワーク・ライフ・バランスとは、仕事（ワーク）と、育児・介護・趣味・学習・休養などの仕事以外の生活（ライフ）の調和（バランス）を取り、どちらも充実させる働き方・生き方を指します。単に労働時間を減らすだけでなく、個人の価値観やライフステージに合わせて、自分らしい多様な働き方や生き方を選択できる状態を目指すもので、心身の健康維持や生産性向上にも繋がります。
ワーク・ライフ・バランスは「プライベート優先」ではなく、仕事と生活のどちらも大切にしながら、人生全体の満足度を高めるための考え方として、個人と企業双方にとって重要視されています。」
という感じでした。

良く勘違いされるのは、単純に労働の時間だけをとらえて多い少ない良い悪いと批評される点です。
働き方改革を進めるにあたっては、「時間単位」ではなく「成果単位」で労働を考えていこうというのが本来の考えかと思います。「時間単位」だけで考える人が結構いるみたいですね。
結局やるべきことはやらないといけないので、そこにどれだけの時間を要するのかは本人の能力と努力次第だとは思いますが、時間だけで考えて中途半端に終わらせてしまうとなると全く意味が違ってきますね。本末転倒です。

自分の好きな事に好きな様に時間を使いたい、好きな様に生きたい、という事を実現するには、一方でそう出来る様に責任を果たさないと出来ません。
そうでないとただの自分勝手なわがままになってしまい、結果そのせいで、他の人の大事な時間を奪っていたり迷惑を掛けたりしている、という事になりかねません… 何かを得るにはその為の努力をしないといけません。

基本的に、仕事もプライベートもどちらもしっかりやって、どちらもしっかり楽しみましょう、という事は充実した人生を送るのに良い事だと思います。
ただこれは、前述した様に単純に時間の割合ではないという事を抑えておかないといけないかと思います。
私の様な人間は、仕事が好きですしやり甲斐を感じていますので、当然そこに多くの時間を使います。
というか、起きてる間は殆ど仕事の事を考えて仕事に関わっておりますが、その中でもたまに家族で買い物に行ったり食事に出掛けたり、娘と推しのライブに行ったり、誰かと酒を飲みに出掛けたり、時間的な割合でいうと非常に少ないですが、そのたまに作るそういった時間というのは仕事とはまた違う嬉しさや楽しさがあり、とても癒される良い時間となります。これは単純に時間の割合ではありません。
人それぞれ考える価値、感じる喜び、は違うと思いますので、それぞれの良いバランスで生きれるといいですよね。

仕事が好きで仕事がしたい、特に若い時など仕事を覚えてガンガンやりたい!という人が、誰かの勝手な価値観で時間を決められ、仕事が出来ないというのもおかしな話ですよね…
一方、人によっては、自分の趣味の時間や家族との時間をもっと作りたいという人もいるでしょうし、そういう人には、そういう時間を多く楽しめる様な働き方があった方が良いと思います。
単純な時間の割合・配分ではなく、人それぞれの価値観にあった時間の使い方、楽しみ方が出来る選択肢があるといいと思います。

次ページへ続く

あともう少しおっさんの戯言を聞いてもらうと、やはり若い人にはこの「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を勘違いせずに時間の使い方を大事にして頂きたいと思います。
人生全体のバランスを考えてみて下さい。20代も30代も40台も50台も60代も同じじゃないですよね？
20代の時の働き方、30代の時の働き方、40代50代60代の働き方は、全然違いますよね。当然、出来ることも知識も経験も違います。そこで、ちょっと参考になるどこかのコンサルタントの人の記事を見つけたので以下抜粋して紹介します。
「「ワークライフバランス」で人生の戦略を誤る若者に助言。20代も50代も「1日8時間」働くと考えるのは、シンプルに非効率。
いわゆる「ワークライフバランス」を語る際に僕が感じるのは、「労働時間の長短」を論じる前に、人は年齢によって成果を生むための戦術や武器が変化するという事実を踏まえる必要があるということです。
ワークライフバランスの話し合いでは「駆け引き」という観点が抜け落ちていることを多く感じます。
例えばボクシングの試合でも、相手がぐらついた時には後のラウンドを考慮しながらも、一気にパンチを畳みかけてダウンを狙います。「ここで体力を集中投下してダウン（ポイント）を取っておこう」という判断こそが戦略であり、この局面で「12ラウンドあるのだから、体力を12等分して均等に使おう」といった発想では勝負に勝てません。
僕はよく、20代の武器は「体力」、30代は「技術」、40代は「人脈」、50代は「健康」、60代は「愛嬌」だと話します。
そう考えると、20代も50代も同じ「1日8時間労働」というペースで働くのは、シンプルに非効率です。50代における最大の武器は「健康」であり、健康であれば、これまで築いてきた信用と名声は会社にとって大きな資産となりますし、若手の良き相談相手にもなれる。そのためには、労働時間を少し減らしてでも健康管理に時間を投資する方が賢明です。
一方で20代は、まだ技術も人脈も実績もありません。だからこそ、唯一の武器である「体力」を全力で投下すべき時期です。この段階で高齢者と同じペースで働くのは、まさに「武器の持ち腐れ」です。
結局のところ、「勝った人は勝った人と組めるから、より勝つ」「負けた人は負けた人としか組めないから、より負ける」というのが世の理であり、最初に体力を集中投下して勝っておく方が、後の人生は圧倒的にラクになります。
ところが、そこに「ワークライフバランス」という言葉を持ち込み、戦略を誤る若者が後を絶たない。
会社が労働を強要できない以上、ここは自己責任の駆け引きです。
僕からのアドバイスは、「自分の武器を理解し、駆け引き上手に戦え」という一点に尽きます。
20代で体力を注ぎ、30代で技術を磨き抜いた人は、40代の入り口である程度のポジションに立っているはずです。そこから先に最も必要なのは、労働時間を増やす作業でもなく、技術を磨く作業でもなく（これは引き続き大切だけど！）、15〜20年かけて作り上げた「私」という商品を最も高く買ってくれる国と貿易をし、あるいは共に価値を高め合う国と外交することです。40代は泣いても笑っても「人脈戦」であり、能力と能力の掛け算の時代です。20代30代でそれだけのことをやってきたからこそ40代以降その様な戦い方が出来るのです。」　どうでしたか？

最後にもう一点、これは私が若い時から感じてる事で昔からよく人に言ってきた事なんですが、仕事は楽しんだ方が断然得！って事です。
1日短くても7時間とか8時間働くわけで、それを20代前半から60代後半くらいまで40年以上行うわけです。1日の三分の一、寝てる時間を除いたら半分、生きれる年数の半分以上を仕事に費やす訳です。
人生の大変多くの時間を、「嫌だな〜 仕事なんかしたくないな〜 早く帰りたいな〜」なんて思いながら過ごすのって超勿体なくないですか？　逆にこの時間がとても楽しくやり甲斐のある充実した時間だったら、超〜良くないですか？
仕事の時間も楽しい、そして仕事以外のプライベートの時間も楽しい、ずーっと楽しいじゃないですか⁈
人生最高ですね！って感じっす。

若い方でも皆さんきっと今まで、部活や受験などキツい時間を経験してきたと思います。
でもそういう時間こそ充実した時間だったと思います。部活で一生懸命やったから受験で一生懸命勉強したから、失敗した時は超悔しいし、成功した時は超嬉しいんだと思います。　仕事もそうですし、もちろん仕事以外でも同じです。
時間の長さだけでなく自分が費やした熱量がその喜びにも悔しさにも返ってくるのではないでしょうか。
失敗も成功も充実した時間であり良い経験になるでしょう。

何だか長々と持論を述べてしまい失礼しました。
人それぞれ価値観も考え方も違うと思いますので、これから先自分が楽しめる充実した人生を送れる様な自分に合った「ワーク・ライフ・バランス」を実現して下さい！

さあ、今日も「働いて働いて働いて働いて働いてまいります！」

今さら聞けない

海運基礎知識　「転船業者について」

今回は、「転船業者」について取り上げてみたいと思います。
管理業務に携わる方々はよくご存知かと思いますが、そうでない方にはあまり聞き馴染みが無いかもしれません。
私達船舶管理会社においては、大変お世話になっているお取引先となる「転船業者」に触れてみたいと思います。

「転船業者」て何？

・転船業者とは、船員交代（Crew Change）業務を専門に行う会社のことで、クルーハンドリングエージェントとも言います。
・海外から日本へ入国する船員の税関や入管手続きを行ったり、宿泊先の手配、空港と港間の送迎を行ったり等、スムーズな船員交代を実施する為に船員のサポートなど専門のサービスを提供します。
・船舶代理店を行われている会社様がこの転船業務も行っていることが多いですが、専門の会社様もいます。
・当社の場合、海外での交代においてはその港のポートエージェントに頼むことが多いですが、日本での交代の場合は、ポートエージェントとは別に転船業者殿に依頼します。交代する場所・利用する空港に応じて依頼します。

「転船業者」の業務内容は？

・税関や入国管理局への申請・手続きを代行し、乗組員の安全な出入国をサポートしてくれます。
・本船・空港間や、宿泊施設への移動手段の手配や車での送迎を行ってくれます。
・宿泊施設の手配やチェックイン・チェックアウトの補助もしてくれます。
・必要に応じて食事の手配などもしてくれます。
・緊急時などは、病院の手配や、関係官庁への申請業務なども行ってくれます。
・上記の事をスムーズに行う為にも、船舶代理店とも連絡を取り本船の動静をチェックし、我々管理会社やマンニング会社とも調整しながら、必要な手配や手続きをしてくれます。
・この様に、入国から乗船・下船、出国まで船員交代に関わる一連の流れにおいて必要な手配や手続き含めたサポートを全てしてくれます。

「転船業者」はなぜ必要？

・各国の出入国管理や港湾ごとのローカルルール、港・錨地・ターミナルごとの慣行などにも依存する面もあり、管理会社が全てを直接対応するのは現実的ではなく、現地事情や手続きを熟知した専門業者（転船業者）が不可欠となります。
・船員交代は多くの場合、荷役の合間や短時間のバース滞在、本船スケジュールの変更など時間的な制約も多くあります。港湾・船側・移動手段や手続きを即時に調整できる転船業者が必要となります。
・入国・出国における手続きにおいて、ビザの種類や国籍ごとの規制差、過去事例、当局の運用実態、国籍別の注意点を把握しており、トラブル回避の為にもこの様な専門的な知識は必須となります。
・実務においては、フライトの欠航や遅延、本船の動静変更、乗組員の健康トラブル、代替便やホテルの確保、当局への再調整、等々を状況に応じて即座に行わないといけず管理会社だけでは物理的にも対応不能です。

以上、非常に簡単ではありましたが、「転船業者」について概要を説明させて頂きました。
上記の通り、外航船の場合は特に、船員の交代においても色々な手配や手続きもあり、様々な調整も必要となり当然たくさんの手間が掛かりますし、コスト面にも大きく影響する為、私達管理会社にとっては、スムーズな船員交代を実施して頂ける転船業者殿はとても重要で貴重な存在です。

以 上

Hinase Ship Management Co., Ltd.
日生シップマネージメント株式会社
〒701-3202 岡山県備前市日生町寒河2570番地31
TEL/FAX：0869-72-2177/2178 E-Mail：smd@hsm-jpn.com
URL: http://hsm-jpn.com